

■主要指標の動き■ 2024年9月20日時点(1週間前=9月13日、3か月前=6月20日、6か月前=3月20日、1年前=2023年9月20日) なお、休場の場合は直前の営業日のデータを使用

世界	指標	先週末	騰落率(%)				
			週間	3か月	6か月	1年	23年末比
世界	世界株価 注1	452.46	1.3	4.5	8.6	26.0	16.6
	先進国株価 注2	11,596.36	1.2	4.8	8.6	27.1	17.3
	先進国(除く日本)株価 注3	13,399.74	1.2	4.7	9.0	27.9	17.7
	新興国株価 注4	589.19	2.3	1.9	9.1	16.9	10.4
日本	日経平均株価	37,723.91	3.1	▲2.4	▲5.7	14.2	12.7
	JPX日経インデックス400	24,123.88	2.6	▲3.3	▲3.1	11.2	12.8
	TOPIX(東証株価指数)	2,642.35	2.8	▲3.1	▲3.9	9.8	11.7
	東証プライム市場指数	1,359.78	2.8	▲3.1	▲4.0	9.8	11.7
	東証スタンダード市場指数	1,240.15	2.2	▲1.3	▲2.9	8.2	6.1
米国	NYダウ工業株30種	42,063.36	1.6	7.5	6.5	22.1	11.6
	S&P 500種	5,702.55	1.4	4.2	9.1	29.5	19.6
	ナスダック総合	17,948.32	1.5	1.3	9.6	33.3	19.6
	ナスダック100	19,791.49	1.4	0.2	8.5	32.2	17.6
	フィラデルフィア半導体	5,000.06	0.4	▲10.9	4.4	47.1	19.7
欧州	欧州 ストックス・ヨーロッパ600	514.26	▲0.3	▲0.9	1.8	11.6	7.4
	英国 FTSE100	8,229.99	▲0.5	▲0.5	6.4	6.4	6.4
	ユーロ圏 ユーロ・ストックス	504.50	0.3	▲0.9	▲1.3	11.5	6.4
	ドイツ DAX	18,720.01	0.1	2.6	3.9	18.6	11.8
アジア・オセアニア	中国 CSI300	3,201.05	1.3	▲8.6	▲10.7	▲13.6	▲6.7
	中国 上海A株	2,868.38	1.2	▲9.0	▲11.2	▲12.0	▲8.0
	中国 深圳A株	1,563.11	1.2	▲9.7	▲17.3	▲21.1	▲18.7
	中国 創業板	1,536.60	0.1	▲12.8	▲19.5	▲22.7	▲18.8
	香港 ハンセン	18,258.57	5.1	▲0.4	10.4	2.1	7.1
	台湾 加権	22,159.42	1.8	▲5.3	12.0	34.0	23.6
	韓国 KOSPI	2,593.37	0.7	▲7.6	▲3.6	1.3	▲2.3
	シンガポール ST	3,624.76	1.7	9.8	14.1	11.8	11.9
	タイ SET	1,451.69	1.9	11.8	5.7	▲3.7	2.5
	インドネシア ジャカルタ総合	7,743.00	▲0.9	13.5	5.6	10.4	6.5
その他	フィリピン 総合	7,252.32	3.3	14.3	5.8	20.1	12.4
	ベトナム VN	1,272.04	1.6	▲0.8	0.9	3.7	12.6
	インド SENSEX	84,544.31	2.0	9.1	17.3	26.6	17.0
	豪州 S&P/ASX200	8,209.47	1.4	5.7	6.7	14.6	8.1

中南米	指標	先週末	騰落率(%)				
			週間	3か月	6か月	1年	23年末比
中南米	ブラジル ボベスバ	131,065.44	▲2.8	8.8	1.5	10.4	▲2.3
	メキシコ IPC	52,190.48	0.3	▲2.1	▲7.8	▲0.6	▲9.1
その他	トルコイスタンブール100	9,900.25	2.2	▲7.8	10.6	28.2	32.5
	南アフリカ FTSE/JSEアフリカ全株	83,829.99	2.3	4.7	15.8	12.0	9.0
	エジプト EGX30	30,937.69	1.4	17.1	8.2	56.3	24.3
債券	日本国債 注5	331.54	▲0.5	0.7	▲2.2	▲2.2	▲3.0
	先進国(除く日本)国債 注6	1,029.57	▲0.1	5.4	5.6	10.4	3.5
	新興国債券 注7	827.80	0.6	6.3	8.0	17.8	9.4
利回り*	日本国債2年物	0.389	-0.005	0.096	0.208	0.365	0.336
	日本国債10年物	0.850	0.002	-0.107	0.109	0.123	0.236
	日本国債20年物	1.694	0.050	-0.094	0.177	0.233	0.305
	日本国債30年物	2.070	0.054	-0.066	0.256	0.364	0.437
	米国債2年物	3.593	0.010	-1.146	-1.010	-1.584	-0.658
	米国債10年物	3.742	0.089	-0.519	-0.532	-0.667	-0.138
	ドイツ国債2年物	2.230	0.019	-0.598	-0.695	-1.030	-0.174
	ドイツ国債10年物	2.208	0.060	-0.223	-0.224	-0.494	0.184
	イタリア国債10年物	3.555	0.045	-0.393	-0.158	-0.896	-0.145
	スペイン国債10年物	2.997	0.058	-0.300	-0.250	-0.753	0.004
商品など	東証REIT(配当込み)	4,389.83	▲0.4	2.6	0.8	▲2.5	0.2
	グローバル (米ドルベース)	763.44	▲0.8	16.5	16.7	24.8	13.3
	REIT指数注8(ヘッジなし 円ベース)	847.96	1.9	6.0	11.1	22.1	16.0
	香港REIT 注9	582.22	3.9	24.8	15.6	8.4	▲6.8
	オーストラリアREIT 注9	1,322.97	1.7	13.3	14.9	41.4	26.1
	北海ブレント原油先物	74.49	4.0	▲13.1	▲13.3	▲20.4	▲3.3
	WTI原油先物	71.92	4.8	▲12.5	▲11.9	▲20.3	0.4
	ニューヨーク金先物	2,646.20	1.4	11.7	21.3	34.5	27.7
CRB指数	282.39	3.1	▲4.4	▲1.1	▲2.1	7.0	
シンガポール鉄鉱石先物	91.67	▲1.2	▲14.1	▲13.3	▲24.8	▲34.6	
S&P MLPトータルリターン指数	8,770.22	0.2	3.9	5.3	22.6	18.8	
S&P BDCトータルリターン指数	405.86	0.2	▲0.3	6.3	15.7	9.5	
ビットコイン	62,823.51	4.9	▲3.4	▲6.3	131.9	47.8	

\*「利回り」変化のデータは、騰落率(%)ではなく、騰落幅  
 注8 グローバルREIT指数 : S&PグローバルREIT指数(トータルリターン)  
 注9 香港/オーストラリアREIT指数 : S&Pの各地域/国REIT指数(トータルリターン、現地通貨ベース)

北米	為替(米ドル・インデックスを除き、対円)	先週末	騰落率(%)				
			週間	3か月	6か月	1年	23年末比
北米	米ドル・インデックス	100.72	▲0.4	▲4.6	▲2.6	▲4.4	▲0.6
	米ドル	143.85	2.1	▲9.5	▲4.9	▲3.0	2.0
	カナダ・ドル	106.03	2.4	▲8.7	▲5.4	▲3.8	▲0.3
欧州	ユーロ	160.59	2.9	▲5.6	▲2.8	1.5	3.1
	英ポンド	191.69	3.7	▲4.7	▲0.9	4.7	6.8
	スイス・フラン	169.29	2.1	▲5.0	▲0.7	2.6	1.0
	スウェーデン・クローナ	14.16	2.8	▲6.5	▲2.8	6.3	1.2
	アイスランド・クローネ	1.056	3.1	▲7.4	▲5.0	▲2.9	1.8
	ノルウェー・クローネ	13.72	3.8	▲8.9	▲4.3	▲0.2	▲1.0
アジア・オセアニア	デンマーク・クローネ	21.54	3.0	▲5.5	▲2.8	1.5	3.2
	中国人民幣元	20.42	2.8	▲6.6	▲2.5	0.5	2.8
	香港ドル	18.48	2.3	▲9.3	▲4.5	▲2.6	2.3
	台湾ドル	4.50	2.2	▲8.4	▲5.0	▲2.5	▲2.4
	韓国ウォン(100ウォン当たり)	10.80	2.1	▲5.9	▲4.3	▲3.1	▲1.0
	シンガポール・ドル	111.52	2.8	▲5.0	▲1.2	2.6	4.4
	マレーシア・リンギ	34.24	4.8	1.8	6.9	8.4	10.8
	タイ・バーツ	4.37	3.3	1.1	4.1	6.6	6.6
	インドネシア・ルピア(100ルピア当たり)	0.950	3.9	▲1.8	▲1.3	▲1.5	3.7
	フィリピン・ペソ	2.581	2.5	▲4.2	▲4.3	▲1.1	1.1
中南米	ベトナムドン(100ドン当たり)	0.586	2.4	▲6.1	▲4.3	▲3.7	0.2
	インド・ルピー	1.72	2.6	▲9.2	▲5.1	▲3.1	1.2
	オーストラリア・ドル	97.95	3.7	▲7.4	▲1.7	2.4	2.0
	ニュージーランド・ドル	89.71	3.5	▲7.8	▲2.4	2.0	0.7
	ブラジル・レアル	26.17	3.3	▲10.2	▲14.0	▲14.0	▲9.9
	メキシコ・ペソ	7.41	1.1	▲14.3	▲18.3	▲14.6	▲10.8
	コロンビア・ペソ(100ペソ当たり)	3.47	3.0	▲9.0	▲10.8	▲8.9	▲4.7
	チリ・ペソ(100ペソ当たり)	15.46	1.7	▲9.3	▲1.1	▲8.1	▲3.4
	ペルー・ヌエボ・ソール	38.28	2.7	▲8.4	▲6.5	▲3.9	0.6
	ロシア・ルーブル	1.56	▲0.3	▲14.5	▲4.7	1.0	▲1.1
東欧	ポーランド・ズロチ	37.62	3.3	▲4.3	▲1.9	9.7	5.0
	ハンガリー・フォリント(100フォリント当たり)	40.86	3.4	▲4.7	▲2.7	▲0.7	0.6
	ルーマニア・レイ	32.35	3.2	▲5.3	▲2.6	1.7	3.4
	トルコ・リラ	4.21	1.5	▲12.7	▲9.8	▲23.3	▲12.1
	南アフリカ・ランド	8.26	4.1	▲6.6	2.1	5.0	7.2
その他	エジプト・ポンド	2.96	1.8	▲11.3	▲8.2	▲38.1	▲35.2

(騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス▲の場合は円高)

※右表の為替レートは原則としてニューヨークの17時時点のものであり、弊社投資信託の基準価額の算定に用いられるものと大きく異なることがあります。また、ビットコインのデータもニューヨーク17時時点です。指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

注1 世界株価指数 : MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース、ネットトータルリターン)  
 注2 先進国株価指数 : MSCIワールド・インデックス(米ドルベース、ネットトータルリターン)  
 注3 先進国(除く日本)株価指数 : MSCI-KOKUSAIインデックス(米ドルベース、ネットトータルリターン)  
 注4 新興国株価指数 : MSCIEマージング・マーケット・インデックス(米ドルベース、ネットトータルリターン)  
 注5 日本国債指数 : FTSE日本国債インデックス(円ベース)  
 注6 先進国(除く日本)国債指数 : FTSE世界国債インデックス(除く日本、米ドルベース)  
 注7 新興国債券指数 : JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(ヘッジなし 米ドルベース)

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

先週の主な出来事 (株式市場での反応を○、△、×の順で評価)

日付	市場の反応	国・地域	指標など(コメント)
9月16日(月)	△	中国	8月の主要指標は軒並み予想を下回り、概ね前月の伸びを下回る 14日に発表された8月の鉱工業生産は前年同月比+4.5%、小売売上高は+2.1%、1-8月累計の都市部固定資産投資は前年同期比+3.4%と、いずれも前月から伸びが鈍化し、予想も下回った。1-8月累計の不動産投資は前年同期比▲10.2%と、前月から横ばいだったが、やはり予想を下回った。香港株式は、売り先行となったが、その後、買戻しなどから上昇に転じて引けた。中国本土市場は中秋節で17日まで休場だった。なお、日本は敬老の日の祝日で休場だった。
			0.5ポイントの大幅利下げ観測が拡がる 9月のニューヨーク連銀製造業景気指数は前月比+16.2ポイントの11.5と、予想を大きく上回り、2023年11月以来のプラスとなった。新規受注が2023年4月以来の高水準となったことや、出荷が約1年半ぶりの高水準となったことなどが寄与した。ただし、短期金融市場で0.5ポイントの米利下げ観測が強まったことなどを背景に、欧米の国債利回りは低下し、米2年債では一時、3.52%台と、2022年9月以来の低い水準となった。欧州では、テクノロジー株が売られた一方、小売関連株などは買われ、株式相場がマチマチとなった。米国では、ハイテク株が売られ、ナスダック総合指数は反落したが、景気敏感株が買われ、S&P500指数は小幅に続伸、ニューヨーク・ダウ工業株30種は最高値を更新した。外国為替市場では、米大幅利下げ観測を背景に円買いドル売りが優勢となり、円相場は一時、139円58銭前後と、2023年7月以来の円高・ドル安水準をつけ、その後、140円台で推移した。原油先物は、米大幅利下げが原油需要を押し上げるとの見方などから反発した。
17日(火)	×	日本	円高進行への警戒感が拡がる 円相場は140円台で推移したが、前日の海外市場で一時、139円台に上昇したことなどを背景に、円高進行への警戒感が拡がり、輸出関連株が売られたほか、米長期金利の低下などに伴い、金融株も売られ、株式相場が続落した。国債利回りは、米国債が買われた影響などから低下し、10年債で0.815%と、8月半ば以来の低い水準となった。なお、アジアの他の市場では、米大幅利下げ観測を背景に株式相場が総じて上昇した。
			米国の小売売上高、鉱工業生産が同国経済の底堅さを示唆 ZEW(欧州経済研究所)が発表したドイツの9月の景気期待指数は前月比▲15.6ポイントの3.6と、予想を大きく下回り、2023年10月以来の低水準となった。一方、米国では、8月の小売売上高が、全体で前月比+0.1%と、予想に反して増加、コアでは予想通りの+0.3%となったほか、ともに前月実績が上方修正された。8月の鉱工業生産も前月比+0.8%と、予想を上回った。堅調な経済指標の発表を受け、米大幅利下げ観測が後退したことなどから、欧米の国債利回りが上昇した。ただし、欧州株式相場は米利下げ観測などを背景に上昇、米国では、主力株が利益確定売りに押され、ニューヨーク・ダウ工業株30種は小反落となったが、ナスダック総合指数は反発、S&P500指数も僅かながら続伸した。外国為替市場ではドルが買われ、円相場は142円台に下落した。なお、レバノンで親イラン民兵組織ヒズボラの戦闘員が所持するポケットベルが一斉に爆発し、多数の死傷者が出た。同国当局はイスラエルによる組織的な攻撃だと非難した。原油先物は、地政学リスクへの警戒感などを背景に続伸した。18日の日本では、円相場が概ね141円台で推移し、自動車株や半導体関連株の一角が買われ、株式相場が反発した。国債利回りは、米景気後退懸念が和らいだことなどから上昇した。また、連休明けとなった中国本土では、連休中の国内旅行・支出の好調などから、株式相場が上昇した。香港市場は祝日で休場だった。欧州では、米FOMC(連邦公開市場委員会)の結果発表を控えて投資家の様子見姿勢が強まり、国債利回りが上昇、株式相場は反落した。

18日(水)	×	米国	利下げ幅が0.5ポイントとなったが、FRB議長は継続を想定すべきでないといけん制 FRB(連邦準備制度理事会)は、17~18日に開催したFOMCで4年半ぶりとなる利下げを決定し、政策金利(FFRの誘導目標)を0.5ポイント引き下げ、4.75~5.00%とした。また、FOMC参加者の見通し(中央値)では、年末までにさらに0.5ポイントの利下げが示唆された。利下げ幅が市場予想の0.25ポイントを上回ったことから、利下げ発表直後には、国債利回りが低下、株式相場は上昇した。しかし、FRBのパウエル議長が会見で、0.5ポイントの利下げについて、今後も継続するペースと想定すべきでないと言ったことなどから、その後、利益確定売りなどを背景に、国債利回りは上昇、株式相場は下落に転じて引けた。外国為替市場では、ドル・インデックスが2023年7月以来の安値をつける場面もあったが、その後は上昇に転じた。一方、円相場は一時、140円台に上昇したが、142円台で引けた。19日の日本では、円相場が一時、143円台後半まで下落するなど、円安を背景に輸出関連株や株価指数先物が買われ、株式相場が大幅続伸した。
19日(木)	○	欧米	米新規失業保険申請件数は5月以来の低水準 英国では、市場予想通り、中央銀行が政策金利の据え置きを金融政策委員会で決定した。中銀総裁は、インフレ率を低水準に維持することが重要であり、金融緩和を急がないとの見解を示した。米国では、14日までの週の新規失業保険申請件数が21.9万件と、予想を下回り、5月以来の低い水準に低下(改善)した。9月のフィラデルフィア連銀景気指数は前月比+8.7ポイントの1.7と、予想を上回る改善となった。一方、8月の中古住宅販売件数は前月比▲2.5%の年率386万戸と、予想を下回り、2023年10月以来の低い水準となった。国債利回りは、英国で上昇、ユーロ圏では小動き、マチマチ、米国では、景気が軟着陸に向かっているとの見方を背景に長期債を中心に上昇した。欧米株式相場は、ハイテク株などにけん引されて上昇し、独DAX、米ニューヨーク・ダウ工業株30種およびS&P500の各指数が最高値を更新した。なお、レバノンの親イラン民兵組織ヒズボラの戦闘員らが携帯していたランシーバーが17~18日に相次いで爆発した。ヒズボラの指導者が爆発はイスラエルによるものだとし、19日に報復を宣言したことを受け、中東情勢緊迫化への懸念が高まったこともあり、原油先物が上昇したほか、金先物も買われた。
20日(金)	△	アジア	日銀、政策金利を据え置き 日本では、日銀が、金融政策決定会合で政策金利の据え置きを決めたが、公表文で利上げを続ける方針を改めて示した。国債利回りや円が一時、上昇した。また、前日の海外株高などを背景に上昇していた株式相場は、上げ幅を縮めて引けた。しかし、その後、日銀の植田総裁が会見で、今後の政策判断には時間的な余裕があると述べたことなどを受け、追加利上げ観測が和らぎ、国債利回りは低下に転じたほか、円相場が143円台後半に下落した。中国では、住宅購入に対する規制緩和を当局が検討しているとの報道や人民元高などを背景に、中国本土・香港株式が上昇した。
			FRBのウォー・理事、インフレ率の鈍化次第では0.5ポイントの利下げの可能性も FRBのウォー・理事は、インフレ率の鈍化を前提に、向こう1、2回のFOMCでの0.25ポイントの利下げを想定しており、インフレの軟化が進めば、0.5ポイントの利下げもあり得るとの見解を示した。欧米の国債利回りは、米景気の軟着陸見通しなどから上昇したが、同理事の発言を受け、上げ幅が縮まった。株式市場では、持ち高調整や利益確定の売りが出たことなどから、欧州株式が反落、米国株式は小動き、マチマチとなり、ニューヨーク・ダウ工業株30種が最高値を更新した。また、ニューヨーク金先物が最高値を更新して引けた。

今週の主な注目点

米国では、9月の消費者信頼感指数(24日)、8月の新築住宅販売件数(25日)、同月のPCE(個人消費支出)物価指数(27日)が発表されるほか、FRBのパウエル議長の挨拶や、バ・副議長およびニューヨーク連銀、ミネアポリス連銀の総裁の講演が26日に予定されている。日本では自民党総裁選挙の投開票が27日に行なわれる。  
(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)